

木質科学シンポジウム

# 「木質と水の接点を考える」

「紙と水をコントロールする」

東京大学大学院農学生命科学研究科

磯貝 明氏

「木の中の水の動態をさぐる」

森林総合研究所 木材特性研究領域

鈴木養樹氏

「超臨界水をバイオマス変換に生かす」

京都大学大学院エネルギー科学研究科

坂 志朗氏

主催: 日本木材学会

日時: 平成18年5月20日(土)14:30~17:00

場所: 東京大学農学部弥生講堂 一条ホール

樹の成長過程は言うに及ばず、利用されるときも、木材にとって水は重要な要素です。今回は、紙のゲル化などどのように水を制御するのか、木材中での水の分布をどのようにして知るのか、超臨界水での水をいかにバイオマス変換に生かすのかなど、水を共通の切り口として、分野の異なる両方からお話を伺うシンポジウムを企画いたしました。基礎的な事柄から最新の話まで幅広い参加者を対象としてお話いただきますので、多数のご参加をお待ちしております。